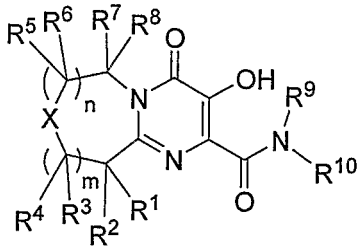
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【公表番号】特表2008-534561(P2008-534561A)
【公表日】平成20年8月28日(2008.8.28)
【年通号数】公開・登録公報2008-034
【出願番号】特願2008-503572(P2008-503572)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 487/04　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/519　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/551　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 498/04　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/553　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/549　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 513/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 31/18　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 487/04　１４４
Ｃ０７Ｄ 487/04　１４７
Ｃ０７Ｄ 487/04　ＣＳＰ
Ｃ０７Ｄ 487/04　１５１
Ａ６１Ｋ 31/519
Ａ６１Ｋ 31/551
Ｃ０７Ｄ 498/04　１１６
Ａ６１Ｋ 31/553
Ａ６１Ｋ 31/549
Ｃ０７Ｄ 513/04　３８１
Ｃ０７Ｄ 487/04　１４８
Ａ６１Ｐ 31/18
Ａ６１Ｐ 43/00　１１１

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月21日(2008.10.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
式Ｉの化合物またはこの医薬として許容される塩。

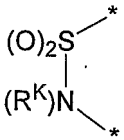
【化１】



(I)

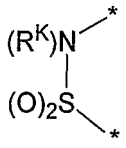
（式中、Ｘは、Ｎ（Ｒ^{K}）、Ｏ、Ｓ、Ｓ（Ｏ）、Ｓ（Ｏ）$_{2}$、

【化２】



または

【化３】



であり、＊はそれぞれ分子の残部に結合する点を示し、

Ｒ^{K}は、

（１）Ｈ、

（２）Ｃ$_{1\sim6}$アルキル、

（３）Ｔで置換されたＣ$_{1\sim6}$アルキル（Ｔは、ＣＯ$_{2}$Ｒ^{A}、ＣＮ、ＳＯ$_{2}$Ｒ^{A}、Ｎ（Ｒ^{D}）Ｒ^{E}、Ｃ（Ｏ）Ｎ（Ｒ^{D}）Ｒ^{E}、Ｎ（Ｒ^{A}）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（Ｒ^{D}）Ｒ^{E}、Ｎ（Ｒ^{A}）－Ｃ（Ｏ）Ｒ^{B}、Ｎ（Ｒ^{A}）－ＳＯ$_{2}$Ｒ^{B}、Ｎ（Ｒ^{A}）－ＳＯ$_{2}$Ｎ（Ｒ^{D}）Ｒ^{E}またはＮ（Ｒ^{A}）－ＣＯ$_{2}$Ｒ^{B}である。）、

（４）Ｃ$_{1\sim6}$ハロアルキル、

（５）Ｃ（Ｏ）Ｒ^{A}、

（６）Ｃ（Ｏ）－Ｃ$_{1\sim6}$ハロアルキル、

（７）ＣＯ$_{2}$Ｒ^{A}、

（８）Ｃ（Ｏ）－Ｕ、

（９）Ｃ（Ｏ）－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－Ｕ、

（１０）Ｃ（Ｏ）Ｎ（Ｒ^{D}）Ｒ^{E}、

（１１）Ｃ（Ｏ）－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－Ｎ（Ｒ^{D}）Ｒ^{E}、

（１２）Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｕ、

（１３）Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－Ｕ、

（１４）Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（Ｒ^{D}）Ｒ^{E}、

（１５）Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－Ｎ（Ｒ^{D}）Ｒ^{E}、

（１６）ＳＯ$_{2}$Ｒ^{A}、

（１７）ＳＯ$_{2}$－Ｕ、

（１８）ＳＯ$_{2}$－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－Ｕ、

（１９）ＳＯ$_{2}$Ｎ（Ｒ^{D}）Ｒ^{E}、

（２０）ＣｙｃＢ、

（２１）Ｕで置換されたＣ$_{1\sim6}$アルキル、または

（２２）Ｃ（Ｏ）Ｎ（Ｒ^{A}）－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－Ｕで置換されたＣ$_{1\sim6}$アルキル

（ＵはＣｙｃＢ、ＡｒｙＢまたはＨｅｔＢである。）であり、
ｍおよびｎはそれぞれ独立して０、１または２に等しい整数であり、ただし、ｍ＋ｎはゼロ、１または２であり、
Ｒ[1]は、
（１）Ｈ、
（２）Ｃ$_{1\sim6}$アルキル、
（３）Ｃ$_{1\sim6}$ハロアルキル、
（４）Ｖで置換されたＣ$_{1\sim6}$アルキル（ＶはＯＨ、Ｏ－Ｃ$_{1\sim6}$アルキル、Ｏ－Ｃ$_{1\sim6}$ハロアルキル、ＳＲ[Ａ]、Ｓ（Ｏ）Ｒ[Ａ]、ＳＯ$_2$Ｒ[Ａ]、Ｎ（Ｒ[Ｄ]）Ｒ[Ｅ]、Ｃ（Ｏ）Ｎ（Ｒ[Ｄ]）Ｒ[Ｅ]、Ｎ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（Ｒ[Ｄ]）Ｒ[Ｅ]、Ｎ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）Ｒ[Ｂ]、Ｎ（Ｒ[Ａ]）－ＳＯ$_2$Ｒ[Ｂ]、Ｎ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－ＳＯ$_2$Ｒ[Ｂ]、Ｎ（Ｒ[Ａ]）Ｃ（Ｏ）－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－ＳＯ$_2$Ｒ[Ｂ]、Ｎ（Ｒ[Ａ]）－ＳＯ$_2$Ｎ（Ｒ[Ｄ]）Ｒ[Ｅ]、Ｎ（Ｒ[Ａ]）－ＣＯ$_2$Ｒ[Ｂ]またはＮ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）Ｎ（Ｒ[Ｄ]）Ｒ[Ｅ]である。）、
（５）Ｗで置換されたＣ$_{1\sim6}$アルキル（Ｗは、ＣｙｃＡ、ＡｒｙＡ、ＨｅｔＡ、Ｏ－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－ＣｙｃＡ、Ｏ－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－ＡｒｙＡ、Ｏ－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－ＨｅｔＡ、Ｓ（Ｏ）$_j$－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－ＣｙｃＡ、Ｓ（Ｏ）$_j$－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－ＡｒｙＡ、Ｓ（Ｏ）$_j$－Ｃ$_{1\sim6}$アルキレン－ＨｅｔＡ、Ｎ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）－ＡｒｙＡまたはＮ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）－ＨｅｔＡである。）、
（６）Ｎ（Ｒ[Ａ]）－ＳＯ$_2$Ｒ[Ｂ]、
（７）Ｎ（Ｒ[Ａ]）－ＳＯ$_2$Ｎ（Ｒ[Ｄ]）Ｒ[Ｅ]、
（８）Ｎ（Ｒ[Ａ]）－ＣＯ$_2$Ｒ[Ｂ]、
（９）Ｎ（Ｒ[Ｄ]）Ｒ[Ｅ]、
（１０）Ｎ（Ｒ[Ｃ]）Ｒ[Ａ]、
（１１）Ｎ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）Ｒ[Ｂ]、
（１２）Ｎ（Ｒ[Ｃ]）－Ｃ（Ｏ）Ｒ[Ａ]、
（１３）Ｓ（Ｏ）$_j$Ｒ[Ｆ]、
（１４）ＯＲ[Ｆ]、
（１６）ＣｙｃＡ、
（１７）ＡｒｙＡ、
（１８）ＨｅｔＡ、
（１９）Ｎ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）－ＣｙｃＡ、
（２０）Ｎ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）－ＡｒｙＡ、
（２１）Ｎ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）－ＨｅｔＡ、
（２２）Ｎ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）－Ｎ（Ｒ[Ｄ]）Ｒ[Ｅ]、
（２３）Ｎ（Ｒ[Ｃ]）－Ｃ（Ｏ）－ＣｙｃＡ、
（２４）Ｎ（Ｒ[Ｃ]）－Ｃ（Ｏ）－ＡｒｙＡ、
（２５）Ｎ（Ｒ[Ｃ]）－Ｃ（Ｏ）－ＨｅｔＡ、
（２６）Ｎ（Ｒ[Ｃ]）－Ｃ（Ｏ）－Ｎ（Ｒ[Ｄ]）Ｒ[Ｅ]、
（２７）Ｎ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－ＣｙｃＡ、
（２８）Ｎ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－ＡｒｙＡ、
（２９）Ｎ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－ＨｅｔＡ、
（３０）Ｎ（Ｒ[Ａ]）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（Ｒ[Ｄ]）Ｒ[Ｅ]、
（３１）Ｎ（Ｒ[Ｃ]）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－ＣｙｃＡ、
（３２）Ｎ（Ｒ[Ｃ]）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－ＡｉｙＡ、
（３３）Ｎ（Ｒ[Ｃ]）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－ＨｅｔＡ、または
（３４）Ｎ（Ｒ[Ｃ]）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（Ｒ[Ｄ]）Ｒ[Ｅ]であり、
ｊはそれぞれ独立して０、１または２と等しい整数であり、
Ｒ[2]は、ＨまたはＣ$_{1\sim6}$アルキルであり、あるいは、Ｒ[1]およびＲ[2]はこれら両方が結合している環炭素原子と一緒になって（ｉ）３～７員飽和炭素環または（ｉｉ）Ｎ、ＯおよびＳから独立して選択された１個または２個のヘテロ原子を含有する４～７員飽和複

素環（Ｎはそれぞれ独立して、場合によって$Ｃ_{1～6}$アルキルで置換されており、Ｓはそれぞれ場合によってＳ（Ｏ）またはＳ（Ｏ）$_2$に酸化されている。）を形成し、

$Ｒ^3$はそれぞれ独立して、Ｈまたは$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、$Ｒ^4$はそれぞれ独立してＨまたは$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、あるいは、同一炭素原子に結合した$Ｒ^3$および$Ｒ^4$は一緒にオキソまたはチオキソを形成し、

$Ｒ^5$はそれぞれ独立して、Ｈまたは$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、$Ｒ^6$はそれぞれ独立してＨまたは$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、あるいは、同一炭素原子に結合している$Ｒ^5$および$Ｒ^6$は一緒にオキソまたはチオキソを形成し、

$Ｒ^7$は、Ｈまたは$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、

$Ｒ^8$は、Ｈまたは$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、あるいは、$Ｒ^7$および$Ｒ^8$は一緒にオキソまたはチオキソを形成し、

$Ｒ^9$は、Ｈまたは$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、

$Ｒ^{10}$は、ＣｙｃＣ、ＡｒｙＣまたはＨｅｔＣで置換された$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、

$Ｒ^A$は、それぞれ独立してＨまたは$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、

$Ｒ^B$は、それぞれ独立してＨまたは$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、

$Ｒ^C$は、ＣｙｃＡ、ＡｒｙＡまたはＨｅｔＡで置換された$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、あるいは、ＸがＮ（$Ｒ^K$）でありおよび$Ｒ^1$がＮ（$Ｒ^C$）部分を含むとき、$Ｒ^C$および$Ｒ^K$は、（ｉ）$Ｒ^K$が結合しているＮ原子と、（ｉｉ）$Ｒ^C$が結合しているＮ原子と、（ｉｉｉ）$Ｒ^1$が結合している環炭素と、および（ｉｖ）Ｘと$Ｒ^1$が結合している環炭素との間の０、１または２個の環炭素と、一緒になって５～７員ジアザシクロアルキル融合環を形成し、$Ｒ^C$および$Ｒ^K$から得られた融合環の一部はオキソまたは$Ｃ_{1～6}$アルキルで場合によって置換された１～４個のメチレン鎖であり、

$Ｒ^D$および$Ｒ^E$はそれぞれ独立して、Ｈまたは$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、またはこれら両方が結合している窒素と一緒になって、$Ｒ^D$および$Ｒ^E$が結合している窒素に加えてＮ、ＯおよびＳから選択されたヘテロ原子（Ｓは場合によってＳ（Ｏ）またはＳ（Ｏ）$_2$に酸化されている。）を場合によって含有する４～７員飽和複素環を形成し、前記飽和複素環は、それぞれ独立して$Ｃ_{1～6}$アルキルまたはＳ（Ｏ）$_2$－$Ｃ_{1～6}$アルキルである１個または２個の置換基で場合によって置換されており、

$Ｒ^F$は、$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、あるいは、ＸがＮ（$Ｒ^K$）でありおよび$Ｒ^1$がＳ$Ｒ^F$またはＯ$Ｒ^F$であるとき、$Ｒ^F$および$Ｒ^K$は（ｉ）$Ｒ^K$が結合しているＮ原子と、（ｉｉ）$Ｒ^F$が結合しているＳまたはＯ原子と、（ｉｉｉ）$Ｒ^1$が結合した環炭素と、および（ｉｖ）Ｘと$Ｒ^1$が結合している環炭素との間の０、１または２個の環炭素と、一緒になって５～７員オキシアザシクロアルキル融合環またはチオアザシクロアルキル融合環を形成し、$Ｒ^F$および$Ｒ^K$から得られた融合環の一部は１～４個のメチレン鎖であり、

ＣｙｃＡはそれぞれ独立して、全部で１個から６個の置換基で場合によって置換された$Ｃ_{3～8}$シクロアルキルであり、

（ｉ）０個から６個の置換基はそれぞれ独立して、

（１）ハロゲン、

（２）ＣＮ、

（３）$Ｃ_{1～6}$アルキル、

（４）ＯＨ、

（５）Ｏ－$Ｃ_{1～6}$アルキル、

（６）$Ｃ_{1～6}$ハロアルキル、または

（７）Ｏ－$Ｃ_{1～6}$ハロアルキルであり、

（ｉｉ）０個から２個の置換基はそれぞれ独立して、

（１）ＣｙｃＤ、

（２）ＡｒｙＤ、

（３）ＨｅｔＤ、または

（４）ＣｙｃＤ、ＡｒｙＤもしくはＨｅｔＤで置換された$Ｃ_{1～6}$アルキルであり、

ＣｙｃＢおよびＣｙｃＣはそれぞれ独立してＣｙｃＡと同じ定義を有しており、

ＡｒｙＡはそれぞれ独立して、全部で１個から５個の置換基で場合によって置換されたアリールであり、
（ｉ）０個から５個の置換基はそれぞれ独立して、
（１）$C_{1\sim6}$アルキル、
（２）ＯＨ、Ｏ－$C_{1\sim6}$アルキル、Ｏ－$C_{1\sim6}$ハロアルキル、ＣＮ、NO_2、Ｎ（R^A）R^B、Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、Ｃ（Ｏ）R^A、CO_2R^A、SR^A、Ｓ（Ｏ）R^A、$S(O)_2R^A$、$S(O)_2N(R^A)R^B$、Ｎ（R^A）Ｃ（Ｏ）R^B、Ｎ（R^A）CO_2R^B、Ｎ（R^A）$S(O)_2R^B$、Ｎ（R^A）$S(O)_2N(R^A)R^B$、ＯＣ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、Ｎ（R^A）Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^BまたはＮ（R^A）Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^Bで置換された$C_{1\sim6}$アルキル、
（３）Ｏ－$C_{1\sim6}$アルキル、
（４）$C_{1\sim6}$ハロアルキル、
（５）Ｏ－$C_{1\sim6}$ハロアルキル、
（６）ＯＨ、
（７）ハロゲン、
（８）ＣＮ、
（９）NO_2、
（１０）Ｎ（R^A）R^B、
（１１）Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、
（１２）Ｃ（Ｏ）R^A、
（１３）Ｃ（Ｏ）－$C_{1\sim6}$ハロアルキル、
（１４）Ｃ（Ｏ）ＯR^A、
（１５）ＯＣ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、
（１６）ＳR^A、
（１７）Ｓ（Ｏ）R^A、
（１８）$S(O)_2R^A$、
（１９）$S(O)_2N(R^A)R^B$、
（２０）Ｎ（R^A）$S(O)_2R^B$、
（２１）Ｎ（R^A）$S(O)_2N(R^A)R^B$、
（２２）Ｎ（R^A）Ｃ（Ｏ）R^B、
（２３）Ｎ（R^A）Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、
（２４）Ｎ（R^A）Ｃ（Ｏ）－Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、または
（２５）Ｎ（R^A）CO_2R^Bであり、
（ｉｉ）０個から２個の置換基はそれぞれ独立して、
（１）ＣｙｃＤ、
（２）ＡｒｙＤ、
（３）ＨｅｔＤ、または
（４）ＣｙｃＤ、ＡｒｙＤもしくはＨｅｔＤで置換された$C_{1\sim6}$アルキルであり、
ＡｒｙＢおよびＡｒｙＣはそれぞれ独立して、ＡｒｙＡと同一の定義を有し、
ＨｅｔＡはそれぞれ独立して、全部で１個から５個の置換基で場合によって置換されたヘテロアリールであり、
（ｉ）０個から５個の置換基はそれぞれ独立して、
（１）$C_{1\sim6}$アルキル、
（２）ＯＨ、Ｏ－$C_{1\sim6}$アルキル、Ｏ－$C_{1\sim6}$ハロアルキル、ＣＮ、NO_2、Ｎ（R^A）R^B、Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、Ｃ（Ｏ）R^A、CO_2R^A、SR^A、Ｓ（Ｏ）R^A、$S(O)_2R^A$、$S(O)_2N(R^A)R^B$、Ｎ（R^A）Ｃ（Ｏ）R^B、Ｎ（R^A）CO_2R^B、Ｎ（R^A）Ｓ（Ｏ）２R^B、Ｎ（R^A）$S(O)_2N(R^A)R^B$、ＯＣ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、Ｎ（R^A）Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^BまたはＮ（R^A）Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^Bで置換された$C_{1\sim6}$アルキル、
（３）Ｏ－$C_{1\sim6}$アルキル、

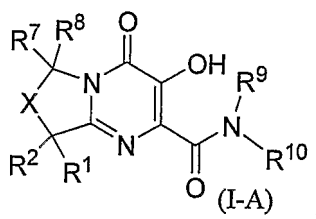
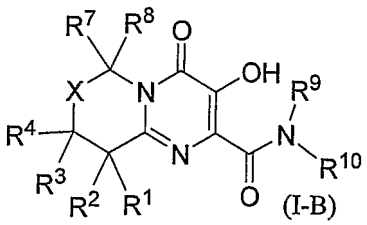
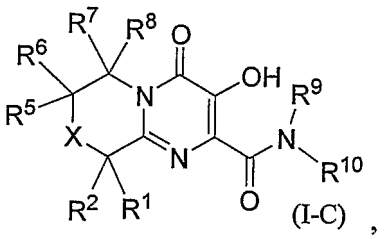
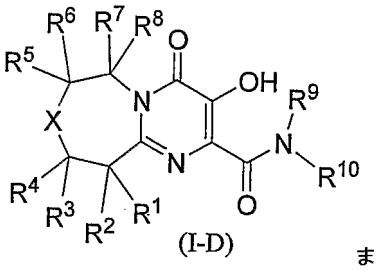
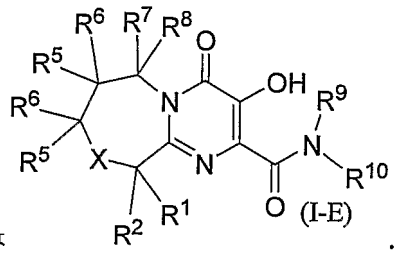
（４）$C_{1\sim6}$ハロアルキル、
（５）Ｏ－$C_{1\sim6}$ハロアルキル、
（６）ＯＨ、
（７）オキソ、
（８）ハロゲン、
（９）ＣＮ、
（１０）NO_2、
（１１）Ｎ（R^A）R^B、
（１２）Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、
（１３）Ｃ（Ｏ）R^A、
（１４）Ｃ（Ｏ）－$C_{1\sim6}$ハロアルキル、
（１５）Ｃ（Ｏ）ＯR^A、
（１６）ＯＣ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、
（１７）ＳR^A、
（１８）Ｓ（Ｏ）R^A、
（１９）$S(O)_2R^A$、
（２０）$S(O)_2N(R^A)R^B$、
（２１）Ｎ（R^A）$S(O)_2R^B$、
（２２）Ｎ（R^A）$S(O)_2N(R^A)R^B$、
（２３）Ｎ（R^A）Ｃ（Ｏ）R^B、
（２４）Ｎ（R^A）Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、
（２５）Ｎ（R^A）Ｃ（Ｏ）－Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、または
（２６）Ｎ（R^A）CO_2R^Bであり、
（ｉｉ）０個から２個の置換基はそれぞれ独立して、
（１）ＣｙｃＤ、
（２）ＡｒｙＤ、
（３）ＨｅｔＤ、または
（４）ＣｙｃＤ、ＡｒｙＤもしくはＨｅｔＤで置換された$C_{1\sim6}$アルキルであり、
ＨｅｔＢおよびＨｅｔＤはそれぞれ独立して、ＨｅｔＡと同一の定義を有し、
ＣｙｃＤはそれぞれ独立して、それぞれが独立してハロゲン、$C_{1\sim6}$アルキル、ＯＨ、Ｏ－$C_{1\sim6}$アルキルまたは$C_{1\sim6}$ハロアルキルである１個から４個の置換基で場合によって置換されている$C_{3\sim8}$シクロアルキルであり、
ＡｒｙＤはそれぞれ独立してフェニルまたはナフチルであり、前記フェニルまたはナフチルは、それぞれが独立してａｒｙＡの定義の（ｉ）部で前述した置換基（１）から（２５）のいずれか１つである１個から５個の置換基で場合によって置換されており、
ＨｅｔＤはそれぞれ独立して、Ｎ、ＯおよびＳから独立して選択された１個から４個のヘテロ原子を含有する５または６員ヘテロ芳香族環であり、前記ヘテロ芳香族環は、それぞれが独立してハロゲン、$C_{1\sim6}$アルキル、$C_{1\sim6}$ハロアルキル、Ｏ－$C_{1\sim6}$アルキル、Ｏ－$C_{1\sim6}$ハロアルキルまたはヒドロキシである１個から４個の置換基で場合によって置換されており、
アリールはそれぞれ独立して、（ｉ）フェニル、（ｉｉ）少なくとも１個の環が芳香族である９または１０員２環の融合炭素環系、または（ｉｉｉ）少なくとも１個の環が芳香族である１１から１４員３環の融合炭素環系であり、
ヘテロアリールはそれぞれ独立して、（ｉ）Ｎ、ＯおよびＳから独立して選択された１個から４個のヘテロ原子（Ｎはそれぞれ、場合によってオキシドの形態である。）を含有する５または６員ヘテロ芳香族環、または（ｉｉ）Ｎ、ＯおよびＳから独立して選択された１個から４個のヘテロ原子を含有する９または１０員２環の融合環系（１個または両方の環が１個または複数のヘテロ原子を含有し、少なくとも１個の環が芳香族であり、Ｎはそれぞれ場合によってオキシドの形態であり、芳香族ではない環のＳはそれぞれ場合によってＳ（Ｏ）または$S(O)_2$である。）であり、

ただし、
（Ａ）ｍが０であり、ＸがＯであるとき、$Ｒ^{1}$はＨではなくおよび$Ｃ_{1～6}$アルキルではなく、
（Ｂ）ｍが０であり、ＸがＯでありおよび－Ｘ［－Ｃ（$Ｒ^{5}Ｒ^{6}$）$_{n}$Ｃ（$Ｒ^{7}Ｒ^{8}$）］－部分が－ＯＣ$Ｈ_{2}$－または－ＯＣ$Ｈ_{2}ＣＨ_{2}$－または－ＯＣ$Ｈ_{2}ＣＨ_{2}ＣＨ_{2}$－であるとき、$Ｒ^{1}$および$Ｒ^{2}$は一緒になって環を形成せず、
（Ｃ）ＸがＮ（$Ｒ^{Ｋ}$）でありおよび$Ｒ^{Ｋ}$が
（１）Ｈ、
（２）$Ｃ_{1～6}$アルキル、
（３）Ｔで置換された$Ｃ_{1～6}$アルキル（ＴはＣ$Ｏ_{2}Ｒ^{Ａ}$、ＣＮ、Ｓ$Ｏ_{2}Ｒ^{Ａ}$、Ｎ（$Ｒ^{Ｄ}$）$Ｒ^{Ｅ}$、Ｃ（Ｏ）Ｎ（$Ｒ^{Ｄ}$）$Ｒ^{Ｅ}$またはＮ（$Ｒ^{Ａ}$）－Ｃ（Ｏ）$Ｒ^{Ｂ}$である。）、
（４）$Ｃ_{1～6}$ハロアルキル、
（５）Ｃ（Ｏ）$Ｒ^{Ａ}$、
（６）Ｃ（Ｏ）－$Ｃ_{1～6}$ハロアルキル、
（８）Ｃ（Ｏ）－Ｕ（ＵはＡｒｙＢまたはＨｅｔＢである。）、
（９）　Ｃ（Ｏ）－$Ｃ_{1～6}$アルキレン－Ｕ、
（１０）　Ｃ（Ｏ）Ｎ（$Ｒ^{Ｄ}$）$Ｒ^{Ｅ}$、
（１１）　Ｃ（Ｏ）－$Ｃ_{1～6}$アルキレン－Ｎ（$Ｒ^{Ｄ}$）$Ｒ^{Ｅ}$、
（１４）　Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（$Ｒ^{Ｄ}$）$Ｒ^{Ｅ}$（$Ｒ^{Ｄ}$および$Ｒ^{Ｅ}$が、これら両方が結合しているＮと一緒になって飽和複素環を形成しているときを除く）、
（１６）Ｓ$Ｏ_{2}$ＲＡ、
（１８）Ｓ$Ｏ_{2}$－$Ｃ_{1～6}$アルキレン－Ｕ、または
（２１）Ｕで置換された$Ｃ_{1～6}$アルキル（Ｕで置換された$Ｃ_{1～6}$アルキルがＣ$Ｈ_{2}$－ＨｅｔＢであり、ＨｅｔＢが１個から４個のＮ原子、０個または１個のＯ原子、０個または１個のＳ原子から独立して選択された２個から４個のヘテロ原子を含有する５員ヘテロ芳香族環である（前記ヘテロ芳香族環は環炭素原子を介して－Ｃ$Ｈ_{2}$－部分に結合し、メチル基で場合によって置換されており、ｍは０であり、－Ｃ（$Ｒ^{5}Ｒ^{6}$）$_{n}$Ｃ（$Ｒ^{7}Ｒ^{8}$）－部分は－Ｃ$Ｈ_{2}ＣＨ_{2}$－である。）ときを除く。）であるとき、
$Ｒ^{1}$は、
（４）Ｖで置換された$Ｃ_{1～6}$アルキル（Ｖは、Ｓ（Ｏ）$Ｒ^{Ａ}$、Ｎ（$Ｒ^{Ａ}$）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（$Ｒ^{Ｄ}$）$Ｒ^{Ｅ}$、Ｎ（$Ｒ^{Ａ}$）－Ｓ$Ｏ_{2}Ｒ^{Ｂ}$、Ｎ（$Ｒ^{Ａ}$）－$Ｃ_{1～6}$アルキレン－Ｓ$Ｏ_{2}Ｒ^{Ｂ}$、Ｎ（$Ｒ^{Ａ}$）Ｃ（Ｏ）－$Ｃ_{1～6}$アルキレン－Ｓ$Ｏ_{2}Ｒ^{Ｂ}$、Ｎ（$Ｒ^{Ａ}$）－Ｓ$Ｏ_{2}$Ｎ（$Ｒ^{Ｄ}$）$Ｒ^{Ｅ}$、Ｎ（$Ｒ^{Ａ}$）－Ｃ$Ｏ_{2}Ｒ^{Ｂ}$またはＮ（$Ｒ^{Ａ}$）－Ｃ（Ｏ）Ｎ（$Ｒ^{Ｄ}$）$Ｒ^{Ｅ}$（Ｎ（$Ｒ^{Ａ}$）－Ｃ（Ｏ）Ｎ（$Ｒ^{Ｄ}$）$Ｒ^{Ｅ}$が$ＮＨ－Ｃ（Ｏ）ＮＨ_{2}$以外のとき）である。）、
（５）Ｗで置換された$Ｃ_{1～6}$アルキル（Ｗは、Ｏ－$Ｃ_{1～6}$アルキレン－ＣｙｃＡ、Ｏ－$Ｃ_{1～6}$アルキレン－ＡｒｙＡ、Ｏ－$Ｃ_{1～6}$アルキレン－ＨｅｔＡ、Ｓ（Ｏ）$_{j}$－$Ｃ_{1～6}$アルキレン－ＣｙｃＡ、Ｓ（Ｏ）$_{j}$－$Ｃ_{1～6}$アルキレン－ＡｒｙＡ、Ｓ（Ｏ）$_{j}$－$Ｃ_{1～6}$アルキレン－ＨｅｔＡ、Ｎ（$Ｒ^{Ａ}$）－Ｃ（Ｏ）－ＡｒｙＡまたはＮ（$Ｒ^{Ａ}$）－Ｃ（Ｏ）－ＨｅｔＡである。）、
（７）$Ｒ^{Ｄ}$および$Ｒ^{Ｅ}$が、これら両方が結合しているＮと一緒になって場合によって置換された飽和複素環を形成するとき、Ｎ（$Ｒ^{Ａ}$）－Ｓ$Ｏ_{2}$Ｎ（$Ｒ^{Ｄ}$）$Ｒ^{Ｅ}$、
（１０）$Ｒ^{Ｃ}$および$Ｒ^{Ｋ}$が場合によって置換された融合ジアザシクロアルキル環の形成に関与しているとき、Ｎ（$Ｒ^{Ｃ}$）$Ｒ^{Ａ}$、
（１２）$Ｒ^{Ｃ}$および$Ｒ^{Ｋ}$が場合によって置換された融合ジアザシクロアルキル環の形成に関与しているとき、Ｎ（$Ｒ^{Ｃ}$）－Ｃ（Ｏ）$Ｒ^{Ａ}$、
（１３）$Ｒ^{Ｆ}$および$Ｒ^{Ｋ}$が融合チオアザシクロアルキル環の形成に関与しているとき、Ｓ（Ｏ）$_{j}Ｒ^{Ｆ}$、
（１４）$Ｒ^{Ｆ}$および$Ｒ^{Ｋ}$が融合オキシアザシクロアルキル環の形成に関与しているとき、Ｏ$Ｒ^{Ｆ}$、

（１６）ＣｙｃＡ、
（２１）Ｎ（R^A）－Ｃ（Ｏ）－ＨｅｔＡ、
（２２）R^DおよびR^Eが、これら両方が結合しているＮと一緒になって場合によって置換された飽和複素環を形成するとき、Ｎ（R^A）－Ｃ（Ｏ）－Ｎ（R^D）R^E、
（２３）R^CおよびR^Kが場合によって置換された融合ジアザシクロアルキル環の形成に関与しているとき、Ｎ（R^C）－Ｃ（Ｏ）－ＣｙｃＡ、
（２４）R^CおよびR^Kが場合によって置換された融合ジアザシクロアルキル環の形成に関与しているとき、Ｎ（R^C）－Ｃ（Ｏ）－ＡｒｙＡ、
（２５）Ｎ（R^C）－Ｃ（Ｏ）－ＨｅｔＡ、
（２６）（ｉ）R^DおよびR^Eが、これら両方が結合しているＮと一緒になって場合によって置換された飽和複素環を形成しまたは（ｉｉ）R^CおよびR^Kが場合によって置換された融合ジアザシクロアルキル環の形成に関与しているとき、Ｎ（R^C）－Ｃ（Ｏ）－Ｎ（R^D）R^E、
（２７）Ｎ（R^A）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－ＣｙｃＡ、
（２８）Ｎ（R^A）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－ＡｒｙＡ、
（２９）Ｎ（R^A）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－ＨｅｔＡ、
（３０）Ｎ（R^A）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（R^D）R^E、
（３１）Ｎ（R^C）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－ＣｙｃＡ、
（３２）Ｎ（R^C）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－ＡｒｙＡ、
（３３）Ｎ（R^C）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－ＨｅｔＡ、または
（３４）Ｎ（R^C）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（R^D）R^Eであり、または
（Ｄ）ｍが０であり、－Ｃ（R^5R^6）$_n$Ｃ（R^7R^8）－部分が－CH_2CH_2－であり、ＸがＮ（R^K）であり、R^KがCH_2－ＨｅｔＢであり、ＨｅｔＢが１個から４個のＮ原子、０個または１個のＯ原子および０個または１個のＳ原子から独立して選択された２個から４個のヘテロ原子を含有する５員ヘテロ芳香族環である（前記ヘテロ芳香族環は環炭素原子を介して－CH_2－部分に結合しておりおよびメチル基で場合によって置換されている。）とき、
（ｄ１）R^1は条件Ｃで定義された通りであり、または
（ｄ２）R^1およびR^2はいずれもメチルであり、R^9はＨであり、R^{10}は４－フルオロベンジルである。）

【請求項２】
下式の化合物である、請求項１に記載の化合物またはこの医薬として許容される塩。

【化４】


(I-A)
,

(I-B)
,

(I-C)
,

(I-D)
または

(I-E)
.

【請求項３】
ＸがＮ（R^K）またはＯである、請求項２に記載の化合物またはこの医薬として許容さ

れる塩。
【請求項４】
R^9がＨであり、
R^{10}が、
（１）CH_2－フェニルまたはCH_2－ＨｅｔＣ（前記フェニルは全部で１個から３個の置換基で場合によって置換されており、（ｉ）０個から３個の置換基はそれぞれ独立して、ブロモ、クロロ、フルオロ、$C_{1\sim4}$アルキル、CF_3、Ｃ（Ｏ）NH_2、Ｃ（Ｏ）ＮＨ（$C_{1\sim4}$アルキル）、Ｃ（Ｏ）Ｎ（$C_{1\sim4}$アルキル）$_2$、Ｓ－$C_{1\sim4}$アルキル、SO_2－$C_{1\sim4}$アルキルまたはSO_2N（$C_{1\sim4}$アルキル）$_2$であり、（ｉｉ）０から１個の置換基は、イミダゾリル、トリアゾリル、オキサジアゾリル、ピロリルおよびピラゾリルからなる群から選択されたヘテロ芳香族であり、前記ヘテロ芳香族環は、それぞれが独立してＣｌ、Ｂｒ、Ｆ、$C_{1\sim4}$アルキル、CF_3、Ｏ－$C_{1\sim4}$アルキル、ＯCF_3またはＯＨである１個または２個の置換基で場合によって置換されている。）、
（２）CH_2－ＨｅｔＣ（ＨｅｔＣは、（ｉ）１個から４個のＮ原子、０個から１個のＯ原子および０個から１個のＳ原子から独立して選択された全部で１個から４個のヘテロ原子を含有する５または６員ヘテロ芳香族環または（ｉｉ）９または１０員の２環の融合環系であるヘテロアリール（１個の環はベンゼン環であり、もう１個の環は０個から３個のＮ原子、０個から１個のＯ原子および０個から１個のＳ原子から独立して選択された１個から３個のヘテロ原子を含有する５または６員ヘテロ芳香族環であり、前記ヘテロアリールはそれぞれ独立してＣｌ、Ｂｒ、Ｆまたは$C_{1\sim4}$アルキルである１個から３個の置換基で場合によって置換されている。）である、請求項３に記載の化合物またはこの医薬として許容される塩。
【請求項５】
ＸがＮ（R^K）またはＯであり、
R^Kが、
（１）Ｈ、
（２）$C_{1\sim4}$アルキル、
（３）Ｔで置換された$C_{1\sim4}$アルキル（ＴはＣＯ$_2R^A$、ＣＮ、Ｎ（R^D）R^EまたはＣ（Ｏ）Ｎ（R^D）R^Eである。）、
（４）Ｃ（Ｏ）R^A、
（５）Ｃ（Ｏ）－$C_{1\sim4}$フルオロアルキル、
（６）ＣＯ$_2R^A$、
（７）ＳＯ$_2$ＲＡ、
（８）ＳＯ$_2$－ＡｒｙＢ、
（９）ＳＯ$_2$Ｎ（R^D）R^E、
（１０）Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^D）R^E、
（１１）Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（R^D）R^E、
（１２）Ｃ（Ｏ）－$C_{1\sim4}$アルキレン－Ｎ（R^D）R^E、
（１３）ＣｙｃＢ、
（１４）Ｕで置換された$C_{1\sim4}$アルキル（ＵはＣｙｃＢ、ＡｒｙＢまたはＨｅｔＢである。）、または、
（１５）Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）－$C_{1\sim4}$アルキレン－ＨｅｔＢで置換されたは$C_{1\sim4}$アルキルであり、
R^1が、
（１）Ｈ、
（２）$C_{1\sim4}$アルキル、
（３）Ｖで置換された$C_{1\sim4}$アルキル（ＶはＯＨ、Ｏ－$C_{1\sim4}$アルキル、ＳR^A、Ｓ（Ｏ）R^A、SO_2R^A、Ｎ（R^D）R^E、Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^D）R^E、Ｎ（R^A）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（R^D）R^E、Ｎ（R^A）－Ｃ（Ｏ）R^B、Ｎ（R^A）－SO_2R^B、Ｎ（R^A）－$C_{1\sim4}$アルキレン－SO_2R^B、Ｎ（R^A）Ｃ（Ｏ）－$C_{1\sim4}$アルキ

レン－SO_2R^B、$N(R^A)-SO_2N(R^D)R^E$または$N(R^A)-CO_2R^B$である。）、
（４）Ｗで置換された$C_{1\sim4}$アルキル（Ｗは、ＣｙｃＡ、ＡｒｙＡ、ＨｅｔＡ、Ｏ－$C_{1\sim4}$アルキレン－ＡｒｙＡ、Ｏ－$C_{1\sim4}$アルキレン－ＨｅｔＡまたは$N(R^A)-C(O)$－ＨｅｔＡである。）、
（５）$N(R^A)-SO_2R^B$、
（６）$N(R^A)-SO_2N(R^D)R^E$、
（７）$N(R^A)-CO_2R^B$、
（８）$N(R^D)R^E$、
（９）$N(R^C)R^A$、
（１０）$N(R^A)-C(O)R^B$、
（１１）$N(R^C)-C(O)R^A$、
（１２）SR^F、$S(O)R^F$または$S(O)_2R^F$、
（１３）$N(R^A)-C(O)$－ＨｅｔＡ、
（１４）$N(R^C)-C(O)-N(R^D)R^E$、
（１５）$N(R^A)-C(O)C(O)-N(R^D)R^E$、または
（１６）$N(R^C)-C(O)C(O)-N(R^D)R^E$であり、
R^2がＨまたは$C_{1\sim4}$アルキルであり、または、R^1およびR^2がこれら両方が結合している環炭素原子と一緒になって（ｉ）３から６員飽和炭素環または（ｉｉ）Ｎ、Ｏおよびから選択された（前記Ｎは$C_{1\sim4}$アルキルで場合によって置換されており、前記は場合によって$S(O)$または$S(O)_2$に酸化されている。）１個のヘテロ原子を含有する６員飽和複素環を形成し、
R^3がそれぞれ独立して、Ｈまたは$C_{1\sim4}$アルキルであり、R^4がそれぞれ独立してＨまたは$C_{1\sim4}$アルキルであり、または、同一炭素原子に結合しているR^3およびR^4が一緒になってオキソを形成し、
R^5がそれぞれ独立してＨまたは$C_{1\sim4}$アルキルであり、R^6がそれぞれ独立してＨまたは$C_{1\sim4}$アルキルであり、または、同一炭素原子に結合しているR^5およびR^6が一緒になってオキソを形成し、
R^7が、Ｈまたは$C_{1\sim4}$アルキルであり、
R^8が、Ｈまたは$C_{1\sim4}$アルキルであり、または、R^7およびR^8が一緒になってオキソを形成し、
R^9が、Ｈまたは$C_{1\sim4}$アルキルであり、
R^{10}が、ＣｙｃＣ、ＡｒｙＣまたはＨｅｔＣで置換された$C_{1\sim4}$アルキルであり、
R^Aが、それぞれ独立してＨまたは$C_{1\sim4}$アルキルであり、
R^Bが、それぞれ独立してＨまたは$C_{1\sim4}$アルキルであり、
R^Cが、ＣｙｃＡ、ＡｒｙＡまたはＨｅｔＡで置換された$C_{1\sim4}$アルキルであり、または、ＸがＮ（R^K）でありおよびR^1がＮ（R^C）部分を含むとき、R^CおよびR^Kは（ｉ）R^Kが結合しているＮ原子と、（ｉｉ）R^Cが結合しているＮ原子と、（ｉｉｉ）R^1が結合している環炭素とおよび（ｉｖ）ＸとR^1が結合した環炭素との間の０、１または２個の環炭素と、一緒になって５もしくは６員ジアザシクロアルキル融合環を形成し、R^CおよびR^Kから得られた融合環の一部はオキソまたは$C_{1\sim4}$アルキルで場合によって置換された１～３個のメチレン鎖であり、
R^DおよびR^Eがそれぞれ独立して、Ｈまたは$C_{1\sim4}$アルキルであり、またはこれら両方が結合している窒素と一緒になって、R^CおよびR^Dが結合している窒素に加えてＮ、Ｏおよびから選択されたヘテロ原子（前記は場合によって$S(O)$または$S(O)_2$に酸化されている。）を場合によって含有する５もしくは６員飽和複素環を形成し、前記飽和複素環は、それぞれ独立して$C_{1\sim4}$アルキルまたは$S(O)_2-C_{1\sim4}$アルキルである１個または２個の置換基で場合によって置換されており、
R^Fが$C_{1\sim4}$アルキルであり、あるいは、ＸがＮ（R^K）でありおよびR^1がSR^Fであるとき、R^FおよびR^Kは（ｉ）R^Kが結合しているＮ原子と、（ｉｉ）R^Fが結合

しているＳ原子と、（ｉｉｉ）R^1が結合している環炭素とおよび（ｉｖ）ＸとR^1が結合している環炭素との間の０、１または２個の環炭素と、一緒になって５または６員融合チオアザシクロアルキル環を形成し、R^FおよびR^Kから得られた前記融合環の一部は１～３個のメチレン鎖であり、

ＣｙｃＡがそれぞれ独立して、それぞれが独立して$C_{1\sim4}$アルキル、ＯＨまたはＯ－$C_{1\sim4}$アルキルである１個または２個の置換基で場合によって置換された$C_{3\sim6}$シクロアルキルであり、

ＣｙｃＢがそれぞれ独立して、$C_{1\sim4}$アルキル、ＯＨまたはＯ－$C_{1\sim4}$アルキルである１個または２個の置換基で場合によって置換された$C_{3\sim6}$シクロアルキルであり、

ＣｙｃＣがそれぞれ独立して、$C_{1\sim4}$アルキル、ＯＨまたはＯ－$C_{1\sim4}$アルキルである１個または２個の置換基で場合によって置換された$C_{3\sim6}$シクロアルキルであり、

ＡｒｙＡがそれぞれ独立して、フェニルまたはナフチルであり、前記フェニルまたはナフチルは、それぞれが独立して、

（１）ＯＨ、Ｏ－$C_{1\sim4}$アルキル、Ｏ－$C_{1\sim4}$ハロアルキル、ＣＮ、Ｎ（R^A）R^B、Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、Ｃ（Ｏ）R^A、CO_2R^A、SR^A、Ｓ（Ｏ）R^A、SO_2R^Aまたは$S(O)_2N(R^A)R^B$で場合によって置換された$C_{1\sim4}$アルキル、

（２）Ｏ－$C_{1\sim4}$アルキル、

（３）$C_{1\sim4}$ハロアルキル、

（４）Ｏ－$C_{1\sim4}$ハロアルキル、

（５）ＯＨ、

（６）ハロゲン、

（７）ＣＮ、

（８）NO_2、

（９）Ｎ（R^A）R^B、

（１０）Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^A）R^B、

（１１）Ｃ（Ｏ）R^A、

（１２）Ｃ（Ｏ）－$C_{1\sim4}$ハロアルキル、

（１３）CO_2R^A、

（１４）SR^A、

（１５）Ｓ（Ｏ）R^A、

（１６）SO_2R^A、または

（１７）$SO_2N(R^A)R^B$である１個から３個の置換基で場合によって置換されており、

ＡｒｙＢが独立して、ＡｒｙＡと同一の定義を有し、

ＡｒｙＣがフェニルまたはナフチルであり、前記フェニルまたはナフチルは、

（ｉ）それぞれが独立して、ＡｒｙＡの定義で前述した置換基（１）から（１７）のいずれか１個である１個から３個の置換基で場合によって置換されており、

（ｉｉ）（１）ＡｒｙＤ、

（２）ＨｅｔＤ、

（３）ＣｙｃＤまたは

（４）ＣｙｃＤ、ＡｒｙＤもしくはＨｅｔＤで置換された$C_{1\sim4}$アルキルで場合によって置換されており、

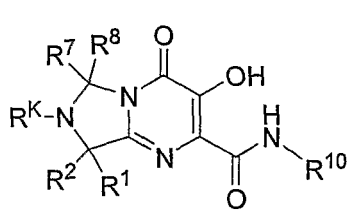
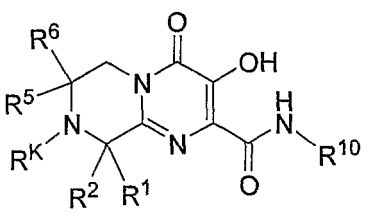
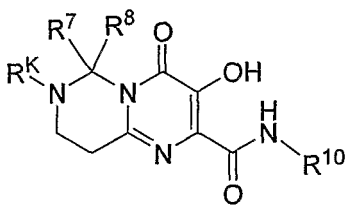
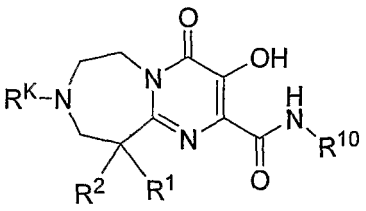
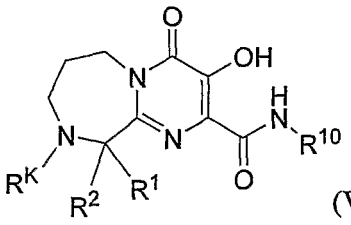
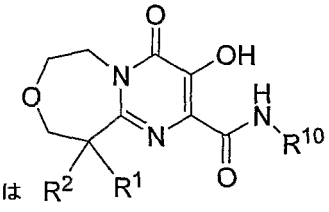
ＨｅｔＡがそれぞれ独立して、０個から４個のＮ原子、０個または１個のＯ原子、および０個または１個のＳ原子から独立して選択された１個から４個のヘテロ原子を含有する５または６員ヘテロ芳香族環であり、Ｎはそれぞれ場合によってオキシドの形態であり、前記ヘテロ芳香族環は、それぞれが独立して、ハロゲン、$C_{1\sim4}$アルキルまたはＯＨである１個から３個の置換基で場合によって置換されており、

ＨｅｔＢが、０個から４個のＮ原子、０個または１個のＯ原子および０個または１個のＳ原子から独立して選択された１個から４個のヘテロ原子を含有する５または６員ヘテロ芳香族環であり、前記ヘテロ芳香族環は、それぞれが独立して、ハロゲン、$C_{1\sim4}$アル

キルまたはＯＨである１個から３個の置換基で場合によって置換されており、
ＨｅｔＣが、０個から４個のＮ原子、０個または１個のＯ原子および０個または１個のＳ原子から独立して選択された１個から４個のヘテロ原子を含有する５または６員ヘテロ芳香族環であり、Ｎはそれぞれ場合によってオキシドの形態であり、前記ヘテロ芳香族環は、
（ｉ）それぞれが独立して、ハロゲン、$Ｃ_{1～4}$アルキルまたはＯＨである１個から３個の置換基で場合によって置換されており、
（ｉｉ）ＡｒｙＤ、ＨｅｔＤ、ＣｙｃＤまたはＡｒｙＤ、ＨｅｔＤもしくはＣｙｃＤで置換された$Ｃ_{1～4}$アルキルで場合によって置換されており、
ＣｙｃＤがそれぞれ独立して、それぞれが独立して$Ｃ_{1～4}$アルキル、ＯＨまたはＯ－$Ｃ_{1～4}$アルキルである１個または２個の置換基で場合によって置換されている$Ｃ_{3～6}$シクロアルキルであり、
ＡｒｙＤがそれぞれ独立してフェニルまたはナフチルであり、前記フェニルまたはナフチルは、それぞれが独立して、ＡｒｙＡの定義で前述した置換基（１）から（１７）のいずれか１個である１個から３個の置換基で場合によって置換されており、
ＨｅｔＤはそれぞれ独立して、０個から４個のＮ原子、０個または１個のＯ原子および０個または１個のＳ原子から選択された１個から４個のヘテロ原子を含有する５または６員ヘテロ芳香族環であり、前記ヘテロ芳香族環は、それぞれが独立して、ハロゲン、$Ｃ_{1～4}$アルキルまたはＯＨである１個から３個の置換基で場合によって置換されており、
ただし、
（Ａ）ｍが０であり、ＸがＯであるとき、$Ｒ^{1}$はＨではなくおよび$Ｃ_{1～4}$アルキルではなく、
（Ｂ）ｍが０であり、ＸがＯでありおよび－Ｘ［－Ｃ（$Ｒ^{5}Ｒ^{6}$）$_{n}$Ｃ（$Ｒ^{7}Ｒ^{8}$）］－部分が－ＯＣ$Ｈ_{2}$－または－ＯＣ$Ｈ_{2}ＣＨ_{2}$－または－ＯＣ$Ｈ_{2}ＣＨ_{2}ＣＨ_{2}$－であるとき、$Ｒ^{1}$および$Ｒ^{2}$は一緒になって環を形成せず、
（Ｃ）ＸがＮ（$Ｒ^{K}$）でありおよび$Ｒ^{K}$が
（１）Ｈ、
（２）$Ｃ_{1～4}$アルキル、
（３）Ｔで置換された$Ｃ_{1～4}$アルキル（ＴはＣ$Ｏ_{2}Ｒ^{A}$、ＣＮ、Ｎ（$Ｒ^{D}$）$Ｒ^{E}$またはＣ（Ｏ）Ｎ（$Ｒ^{D}$）$Ｒ^{E}$である。）、
（４）Ｃ（Ｏ）$Ｒ^{A}$、
（５）Ｃ（Ｏ）－$Ｃ_{1～4}$フルオロアルキル、
（７）Ｓ$Ｏ_{2}Ｒ^{A}$、
（１０）Ｃ（Ｏ）Ｎ（$Ｒ^{D}$）$Ｒ^{E}$、
（１１）Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（$Ｒ^{D}$）$Ｒ^{E}$（$Ｒ^{D}$および$Ｒ^{E}$が、これら両方が結合しているＮと一緒になって飽和複素環を形成しているときを除く。）、
（１２）Ｃ（Ｏ）－$Ｃ_{1～4}$アルキレン－Ｎ（$Ｒ^{D}$）$Ｒ^{E}$、または
（１４）Ｕで置換された$Ｃ_{1～4}$アルキル（Ｕで置換された$Ｃ_{1～4}$アルキルが$ＣＨ_{2}$－ＨｅｔＢであり、ＨｅｔＢが１個から４個のＮ原子、０個または１個のＯ原子および０個または１個のＳ原子から独立して選択された２個から４個のヘテロ原子を含有する５員ヘテロ芳香族環である（前記ヘテロ芳香族環は環炭素原子を介して－$ＣＨ_{2}$－部分に結合しており、メチル基で場合によって置換されており、ｍは０でありおよび－Ｃ（$Ｒ^{5}Ｒ^{6}$）$_{n}$Ｃ（$Ｒ^{7}Ｒ^{8}$）－部分は－$ＣＨ_{2}ＣＨ_{2}$－である。）ときを除く。）であるとき、
$Ｒ^{1}$は、
（３）Ｖで置換された$Ｃ_{1～4}$アルキル（Ｖは、Ｓ（Ｏ）$Ｒ^{A}$、Ｎ（$Ｒ^{A}$）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（$Ｒ^{D}$）$Ｒ^{E}$、Ｎ（$Ｒ^{A}$）－$ＳＯ_{2}Ｒ^{B}$、Ｎ（$Ｒ^{A}$）－$Ｃ_{1～4}$アルキレン－$ＳＯ_{2}Ｒ^{B}$、Ｎ（$Ｒ^{A}$）Ｃ（Ｏ）－$Ｃ_{1～4}$アルキレン－$ＳＯ_{2}Ｒ^{B}$、Ｎ（$Ｒ^{A}$）－$ＳＯ_{2}$Ｎ（$Ｒ^{D}$）$Ｒ^{E}$またはＮ（$Ｒ^{A}$）－$ＣＯ_{2}Ｒ^{B}$である。）、
（４）Ｗで置換された$Ｃ_{1～4}$アルキル（Ｗは、Ｏ－$Ｃ_{1～4}$アルキレン－ＡｒｙＡ、Ｏ－$Ｃ_{1～4}$アルキレン－ＨｅｔＡまたはＮ（$Ｒ^{A}$）－Ｃ（Ｏ）－ＨｅｔＡある。）、

（６）R^DおよびR^Eが、これら両方が結合しているＮと一緒になって場合によって置換された飽和複素環を形成しているとき、Ｎ（R^A）－SO_2Ｎ（R^D）R^E、
（９）R^CおよびR^Kが場合によって置換された融合ジアザシクロアルキル環の形成に関与しているとき、Ｎ（R^C）R^A、
（１１）R^CおよびR^Kが場合によって置換された融合ジアザシクロアルキル環の形成に関与しているとき、Ｎ（R^C）－Ｃ（Ｏ）R^A、
（１２）R^FおよびR^Kが融合チオアザシクロアルキル環の形成に関与しているとき、SR^F、Ｓ（Ｏ）R^Fまたは$S(O)_2R^F$、
（１３）Ｎ（R^A）－Ｃ（Ｏ）－ＨｅｔＡ、
（１４）（ｉ）R^DおよびR^Eがこれら両方が結合しているＮと一緒になって場合によって置換された飽和複素環を形成しているときまたは（ｉｉ）R^CおよびR^Kが場合によって置換された融合ジアザシクロアルキル環の形成に関与しているとき、Ｎ（R^C）－Ｃ（Ｏ）－Ｎ（R^D）R^E、
（１５）Ｎ（R^A）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（R^D）R^E、または
（１６）Ｎ（R^C）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（R^D）R^E
であり、または
（Ｄ）ｍが０であり、－Ｃ（R^5R^6）ｎＣ（R^7R^8）部分が－CH_2CH_2－であり、ＸがＮ（R^K）であり、R^KがCH_2－ＨｅｔＢであり、ＨｅｔＢが１個から４個のＮ原子、０個または１個のＯ原子および０個または１個のＳ原子から独立して選択された２個から４個のヘテロ原子を含有する５員ヘテロ芳香族環である（前記ヘテロ芳香族環は環炭素原子を介して－CH_2－部分に結合しており、メチル基で場合によって置換されている。）とき、
（ｄ１）R^1は条件Ｃで定義された通りであり、または
（ｄ２）R^1およびR^2はいずれもメチルであり、R^9はＨであり、R^{10}は４－フルオロベンジルである
請求項１に記載の化合物またはこれらの医薬として許容される塩。

【請求項６】
下式の化合物である、請求項５に記載の化合物またはこの医薬として許容される塩。
【化５】


(II),

(III),

(IV),

(V),

(VI)または

(VII).

【請求項７】
R^1およびR^2がいずれもメチルであり、
R^5、R^6、R^7およびR^8がいずれもＨであり、
R^{10}が４－フルオロベンジルであり、
R^KがCH_2－ＨｅｔＢであり、
ＨｅｔＢが１個から４個のＮ原子、０個または１個のＯ原子および０個または１個のＳ原子から独立して選択された２個から４個のヘテロ原子を含有する５員ヘテロ芳香族環であり、前記ヘテロ芳香族環は、環炭素原子を介して－CH_2－部分に結合しており、メチ

ル基で場合によって置換されている、式ＩＩＩである、請求項６に記載の化合物またはこの医薬として許容される塩。
【請求項８】
R^1がＮ（R^A）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（ＣR^D）ＲＥまたはＮ（R^C）－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）－Ｎ（R^D）R^Eであり、
R^2がＨである、式ＩＩ、ＩＩＩ、Ｖ、ＶＩまたはＶＩＩの化合物である、請求項６に記載の化合物またはそれらの医薬として許容される塩。
【請求項９】
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－７’－メチル－４’－オキソ－６’，７’－ジヒドロ－４’Ｈ－スピロ［シクロヘキサン－１，８’－イミダゾ［１，５－ａ］ピリミジン］－２’－カルボキシアミド、
Ｎ－［４－フルオロ－２－（メチルスルホニル）ベンジル］－３－ヒドロキシ－７，８，８－トリメチル－４－オキソ－４，６，７，８－テトラヒドロイミダゾ［１，５－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－８－ヒドロキシ－７－オキソ－２，３，７，１０ｂ－テトラヒドロ［１，３］チアゾロ［３’，２’：３，４］イミダゾ［１，５－ａ］ピリミジン－９－カルボキシアミド、
３－ヒドロキシ－７，８，８－トリメチル－Ｎ－［２－（メチルチオ）ベンジル］－４－オキソ－４，６，７，８－テトラヒドロイミダゾ［１，５－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８，８－ジメチル－４－オキソ－７－（ピリジン－３－イルメチル）－４，６，７，８－テトラヒドロイミダゾ［１，５－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８，８－ジメチル－４，６－ジオキソ－４，６，７，８－テトラヒドロイミダゾ［１，５－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
９－［（ベンジルオキシ）メチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－アセチル－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９－（ヒドロキシメチル）－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
９－［（ベンジルオキシ）メチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－アセチル－９－［（ベンジルオキシ）メチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
９－［（ジメチルアミノ）メチル］－８－［（ジメチルアミノ）（オキソ）アセチル］Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－アセチル－９－［（ジメチルアミノ）メチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
９－［（ジメチルアミノ）メチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－（１，３－オキサゾール－４－イルメチル）－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
９－［（ジメチルアミノ）メチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－［（１－メチル－１Ｈ－ピラゾール－３－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミ

ド、
９－［（ジメチルアミノ）メチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－［（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－９－イル）メチル］－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
９－｛［［（ジメチルアミノ）スルホニル］（メチル）アミノ］メチル｝－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－９－（｛メチル［（メチルスルホニル）アセチル］アミノ｝メチル）－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－９－｛［メチル（メチルスルホニル）アミノ］メチル｝－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－９－｛［メチル（ピリジン－２－イルカルボニル）アミノ］メチル｝－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－９－（｛メチル［（１－オキシドピリジン－２－イル）カルボニル］アミノ｝メチル）－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
メチル９－［（ジメチルアミノ）メチル］－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，９－テトラヒドロ－８Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－８－カルボキシラート
９－［（ジメチルアミノ）メチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－（メチルスルホニル）－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
９－［（ジメチルアミノ）メチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９－［（メチルチオ）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－９－［（メチルスルホニル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３’－ヒドロキシ－４’－オキソ－２，３，５，６，７’，８’－ヘキサヒドロ－４’Ｈ，６’Ｈ－スピロ［ピラン－４，９’－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン］－２’－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３’－ヒドロキシ－８’－メチル－４’－オキソ－２，３，５，６，７’，８’－ヘキサヒドロ－４’Ｈ，６’Ｈ－スピロ［ピラン－４，９’－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン］－２’－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９－メチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８，９－ジメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、

８－アセチル－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９－メチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－［（ジメチルアミノ）（オキソ）アセチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９－メチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９－メチル－８－［（１－メチル－１Ｈ－ピラゾール－５－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９－メチル－８－（１，３－オキサゾール－４－イルメチル）－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３’－ヒドロキシ－８’－［（１－メチル－１Ｈ－ピラゾール－３－イル）メチル］－４’－オキソ－２，３，５，６，７’，８’－ヘキサヒドロ－４’Ｈ，６’Ｈ－スピロ［ピラン－４，９’－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン］－２’－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３’－ヒドロキシ－８’－［（１－メチル－１Ｈ－ピラゾール－３－イル）メチル］－４’－オキソ－７’，８’－ジヒドロ－４’Ｈ，６’Ｈ－スピロ［シクロプロパン－１，９’－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン］－２’－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３’－ヒドロキシ－８’－（１，３－オキサゾール－４－イルメチル）－４’－オキソ－７’，８’－ジヒドロ－４’Ｈ，６’Ｈ－スピロ［シクロプロパン－１，９’－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン］－２’－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８，９，９－トリメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－［（ジメチルアミノ）（オキソ）アセチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－アセチル－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－（メチルスルホニル）－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（３－クロロ－４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８，９，９－トリメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－［４－フルオロ－２－（メチルスルホニル）ベンジル］－３－ヒドロキシ－８，９，９－トリメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（３－ブロモ－４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８，９，９－トリメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－｛４－フルオロ－２－（メチルアミノ）カルボニル］ベンジル｝－３－ヒドロキシ－８，９，９－トリメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジ

ノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－８－（１Ｈ－ピラゾール－５－イルメチル）－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－８－（ピラジン－２－イルメチル）－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－（１，３－オキサゾール－４－イルメチル）－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－（１，３－オキサゾール－５－イルメチル）－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－（２－モルホリン－４－イルメチル）－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－８－（１Ｈ－１，２，３－トリアゾール－５－イルメチル）－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ８－エチル－Ｎ２－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－４，６，７，９－テトラヒドロ－８Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２，８－ジカルボキシアミド、
８－［（ジメチルアミノ）スルホニル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－８－（ピリジン－２－イルメチル）－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－８－（２－ピリジン－２－イルメチル）－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（１－メチル－１Ｈ－ピラゾール－５－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（１－メチル－１Ｈ－ピラゾール－３－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－８－（１Ｈ－ピラゾール－５－イルメチル）－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－８－（１，３－チアゾール－５－イルメチル）－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－［２－（ジメチルアミノ）－２－オキソエチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－［２－（ジメチルアミノ）エチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－［２－（ジメチルアミノ）－１－オキソエチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）

－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（５－メチルイソオキサゾール－３－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－［２－（ジエチルアミノ）エチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（１－メチル－１Ｈ－１，２，４－トリアゾール－３－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（２－メチル－１，３－チアゾール－４－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（３－メチルイソキサゾール－５－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（３－メチル－１，２，４－オキサジアゾール－５－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－（シアノメチル）－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－８－（１Ｈ－テトラゾール－５－イルメチル）－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（１－メチル－１Ｈ－１，２，３－トリアゾール－４－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（１－メチル－１Ｈ－１，２，３－トリアゾール－５－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－（２－モルホリン－４－イル－２－オキソエチル）－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－８－（２－オキソ－ピロリジン－１－イルエチル）－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［２－（メチルアミノ）－２－オキソエチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－４，６，７，９－テトラヒドロ－８Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－８－イル）酢酸、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［２－（４－メチルピペラジン－１－イル）－２－オキソエチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、

Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－（１，３，４－オキサジアゾール－２－イルメチル）－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－８－｛２－オキソ－２－［（ピリジン－４－イルメチル）アミノ］エチル｝－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－（１，３－オキサゾール－２－イルメチル）－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（５－メチル－１，３，４－オキサジアゾール－２－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（１－メチル－１Ｈ－テトラゾール－５－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（２－メチル－１Ｈ－テトラゾール－５－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－ベンジル－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（５－メチル－１，２，４－オキサジアゾール－３－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－（２－アミノ－２－オキソエチル）－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（５－メチル－１，３－オキサゾール－２－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－［（４－メチル－１，３－オキサゾール－２－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，９－テトラヒドロ－８Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－８－イル）酢酸、
８－ベンジル－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－８－（１Ｈ－１，２，３－トリアゾール－５－イルメチル）－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
８－［（ジメチルアミノ）（オキソ）アセチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、

８－アセチル－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－８－（トリフルオロアセチル）－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－［（４－メチルフェニル）スルホニル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４，７－ジオキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
７－ベンジル－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４，６－ジオキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピリミド［１，６－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－７－メチル－４，６－ジオキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピリミド［１，６－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－４－オキソ－８，９－ジヒドロ－４Ｈ－ピリミド［２，１－ｄ］［１，２，５］チアジアジン－２－カルボキシアミド７，７－ジオキシド、
（＋）Ｎ－［２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－８－（２－フェニルエチル）－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル］－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－［２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－８－（２－フェニルエチル）－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル］－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－（８－（ジメチルアミノ）（オキソ）アセチル］－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－（シクロヘキシルメチル）－Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ′，Ｎ′－ジメチルエタンジアミド、
Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ－ベンジル－Ｎ′，Ｎ′－ジメチルエタンジアミド、
Ｎ－（８－ベンジル－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－［２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－（メチルスルホニル）－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル］－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－８－シクロプロピル－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサ

ヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－８－シクロプロピル－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－８－シクロプロピル－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－８－シクロプロピル－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（８－シクロプロピルメチル）－２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（８－シクロプロピルメチル）－２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（８－シクロペンチル－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（８－シクロペンチル－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ－イソブチル－Ｎ′，Ｎ′－ジメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－イソプロピル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－イソプロピル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－１０－｛メチル［モルホリン－４－イル（オキソ）アセチル］アミノ｝－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－カルボキシアミド、
（＋）Ｎ－（８－シクロプロピルメチル）－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、

（－）Ｎ－（８－シクロプロピルメチル）－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（８－シクロプロピル－２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（８－シクロプロピル－２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（８－エチル－２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（８－エチル－２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－エチル－Ｎ－（２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ′，Ｎ′－ジメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－イソプロピル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－イソプロピル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－（８－アセチル－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－１０－｛メチル［オキソ（ピロリドン－１－イル）アセチル］アミノ｝－４－オキソ－４，６，７，８，９，１

０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－カルボキシアミド、
１０－［アセチル（シクロヘキシルメチル）アミノ］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－ジカルボキアミド、
１０－［アセチル（ベンジル）アミノ］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－ジカルボキアミド、
８－アセチル－１０－［ベンジル（メチル）アミノ］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－ジカルボキアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（３－クロロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（３－クロロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（８－エチル－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（８－エチル－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－エチル－Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ’，Ｎ’－ジメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－１０－｛メチル［（５－メチル－１，３，４－オキサジアゾール－２－イル）カルボニル］アミノ｝－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］

ジアゼピン－２－カルボキシアミド、
（＋）Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－１０－｛メチル［（５－メチル－１，３，４－オキサジアゾール－２－イル）カルボニル］アミノ｝－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－カルボキシアミド、
１０－［［（ジメチルアミノ）スルホニル（メチル）アミノ］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリジミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－ジカルボキアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
１１－［（ジメチルアミノ）（オキソ）アセチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，９，１０，１１，１２－ヘキサヒドロ－４Ｈ－８，１２－メタノピリミド［１，２－ａ］トリアゾニン－２－カルボキシアミド、
１０－［ベンジル（メチル）アミノ］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリジミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－ジカルボキアミド、
Ｎ’－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ－ジメチルエタンジアミド、
１０－［（アセチル（イソブチル）アミノ］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリジミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－ジカルボキアミド、
１０－［（シクロヘキシルメチル）アミノ］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリジミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－ジカルボキアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－１０－［メチル（メチルスルホニル）アミノ］－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－カルボキシアミド、
１０－（ベンジルアミノ）－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリジミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－ジカルボキアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－１０－［（メチルスルホニル）アミノ］－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－カルボキシアミド、
メチル－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２

－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）メチルカルバマート、
８－［（ジメチルアミノ）（オキソ）アセチル］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリジミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－カルボキアミド、
８－ベンジル－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－１０－（イソブチルアミノ）－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－カルボキシアミド、
１０－［アセチル（メチル）アミノ］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリジミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－ジカルボキアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－（メチルスルホニル）－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－カルボキシアミド、
１０－（アセチルアミノ）－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリジミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－ジカルボキアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－１１－メチル－４，１０－ジオキソ－６，７，９，１０，１１，１２－ヘキサヒドロ－４Ｈ－８，１２－メタノピリミド［１，２－ｄ］［１，４，７］トリアゾニン－２－カルボキシアミド、
８－アセチル－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－１０，１０－ジメチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ａ］［１，４］ジアゼピン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，１０，１０－トリメチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ａ］［１，４］ジアゼピン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，９，１０－テトラヒドロ－４Ｈ－ピリミド［１，２－ｄ］［１，４］オキサゼピン－２－カルボキシアミド、
１０－（ジメチルアミノ）－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，９，１０－テトラヒドロ－４Ｈ－ピリミド［１，２－ｄ］［１，４］オキサゼピン－２－カルボキシアミド、
１０－［アセチル（メチル）アミノ］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，９，１０－テトラヒドロ－４Ｈ－ピリミド［１，２－ｄ］［１，４］オキサゼピン－２－カルボキシアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，９，１０－テトラヒドロ－４ｈ－ピリミド［１，２－ｄ］［１，４］オキサゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，９，１０－テトラヒドロ－４ｈ－ピリミド［１，２－ｄ］［１，４］オキサゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
１０－［［（ジメチルアミノ）スルホニル］（メチル）アミノ］－Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，９，１０－テトラヒドロ－４ｈ－ピリミド［１，２－ｄ］［１，４］オキサゼピン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－１０－｛メチル［（５－メチル－１

，３，４－オキサジアゾール－２－イル）カルボニル］アミノ｝－４－オキソ－６，７，９，１０－テトラヒドロ－４ｈ－ピリミド［１，２－ｄ］［１，４］オキサゼピン－２－カルボキシアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－１０－｛メチル［（４－メチルピペラジン－１－イル）（オキソ）アセチル］アミノ｝－４－オキソ－６，７，９，１０－テトラヒドロ－４Ｈ－ピリミド［１，２－ｄ］［１，４］オキサゼピン－２－カルボキシアミド、および
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－１０－｛メチル［（４－メチルピペラジン－１－イル）スルホニル］アミノ｝－４－オキソ－６，７，９，１０－テトラヒドロ－４Ｈ－ピリミド［１，２－ｄ］［１，４］オキサゼピン－２－カルボキシアミドからなる群から選択された化合物である化合物またはこの医薬として許容される塩。
【請求項１０】
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－９，９－ジメチル－８－（２－メチル－１Ｈ－テトラゾール－５－イル）メチル］－４－オキソ－６，７，８，９－テトラヒドロ－４Ｈ－ピラジノ［１，２－ａ］ピリミジン－２－カルボキシアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－８－シクロプロピル－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（８－シクロプロピルメチル）－２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（８－シクロプロピルメチル）－２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（８－シクロペンチル－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ－イソブチル－Ｎ’，Ｎ’－ジメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－イソプロピル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－（４－フルオロベンジル）－３－ヒドロキシ－８－メチル－１０－｛メチル［モルホリン－４－イル（オキソ）アセチル］アミノ｝－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－２－カルボキシアミド、
（＋）Ｎ－（８－シクロプロピルメチル）－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（８－シクロプロピルメチル）－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ′，Ｎ′－トリ

メチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（８－シクロプロピル－２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（８－シクロプロピル－２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（８－エチル－２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（８－エチル－２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－エチル－Ｎ－（２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド（塩酸塩）、
（＋）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－イソプロピル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－イソプロピル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（３－クロロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（３－クロロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３

－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（３－クロロ－４－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（８－エチル－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（８－エチル－２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
Ｎ－エチル－Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ’，Ｎ’－ジメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－８－メチル－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（－）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロ－３－メチルベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－４，６，７，８，９，１０－ヘキサヒドロピリミド［１，２－ｄ］［１，４］ジアゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、
（＋）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，９，１０－テトラヒドロ－４ｈ－ピリミド［１，２－ｄ］［１，４］オキサゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミド、および
（－）Ｎ－（２－｛［（４－フルオロベンジル）アミノ］カルボニル｝－３－ヒドロキシ－４－オキソ－６，７，９，１０－テトラヒドロ－４ｈ－ピリミド［１，２－ｄ］［１，４］オキサゼピン－１０－イル）－Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－トリメチルエタンジアミドからな

る群から選択された化合物である請求項９に記載の化合物またはこの医薬として許容される塩。
【請求項１１】
請求項１から１０のいずれか一項に記載の化合物またはこの医薬として許容される塩の有効量および医薬として許容される担体を含む医薬組成物。
【請求項１２】
その阻害を必要とする対象においてＨＩＶインテグラーゼを阻害するための、請求項１１に記載の医薬組成物。
【請求項１３】
その処置を必要とする対象においてＨＩＶ感染を治療もしくは予防する、またはＡＩＤＳを治療、予防または発症を遅延するための、請求項１１に記載の医薬組成物。
【請求項１４】
ＨＩＶインテグラーゼの阻害を必要とする対象におけるＨＩＶインテグラーゼの阻害のための、請求項１から１０のいずれか一項に記載の化合物またはこの医薬として許容される塩の使用。
【請求項１５】
ＨＩＶ感染の治療若しくは予防又はＡＩＤＳの治療、予防もしくは発症遅延を必要とする対象におけるＨＩＶ感染の治療若しくは予防またはＡＩＤＳの治療、予防若しくは発症遅延のための、請求項１から１０のいずれか一項に記載の化合物またはこの医薬として許容される塩の使用。
【請求項１６】
ＨＩＶインテグラーゼの阻害を必要とする対象におけるＨＩＶインテグラーゼの阻害のための薬剤の調製で使用するための、請求項１から１０のいずれか一項に記載の化合物またはこの医薬として許容される塩。
【請求項１７】
ＨＩＶ感染の治療若しくは予防またはＡＩＤＳの治療、予防または発症遅延を必要とする対象におけるＨＩＶ感染の治療若しくは予防またはＡＩＤＳの治療、予防もしくは発症遅延のための薬剤の調製に使用するための請求項１から１０のいずれか一項に記載の化合物またはそれらの医薬として許容される塩。